

いわき市沿岸の磯根漁場における 震災後の海藻およびウニの生息状況

福島県水産試験場 栽培漁業部

1 部門名

19-05-09、57

2 担当者

平川直人・和田敏裕・松本育夫

3 要旨

東日本大震災により、いわき市沿岸部は大きな被害を受け、津波により運ばれた瓦礫の海底堆積、懸濁物質の拡散および地震による海底地形の変化による磯根資源への影響が懸念された。そこで本研究は、いわき市沿岸の磯根漁場において、水中カメラを用いウニや海藻等の生息状況確認を行い、東日本大震災が磯根資源に与えた影響を評価することを目的とした。

- (1) 2011年6～11月にいわき市沿岸8つの磯根漁場(薄磯、沼之内、江名、中之作、永崎、下神白、小浜及び勿来)で、水中ビデオカメラにより海藻やウニの生息状況を確認した。調査には漁業者も同行し、映像を確認してもらい震災以前の様子について聞き取りを行い、評価した。
- (2) 調査を行ったいずれの磯根漁場でも海底の形状に大きな変化はなかった。
- (3) 海藻群落も大きな損傷はなく、一部では震災以前より繁茂しているところもみられた。
- (4) ウニ個体数は調査を行ったいずれの海域でも震災以前より個体数が減少しており、津波により漁場外に移送されたものと推察された。

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成23年度
- (2) 研究課題名 漁場環境保全技術に関する研究(磯根漁場における東日本大震災による被災状況調査)
- (3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

5 主な参考文献・資料

- (1) 平成23年度東北ブロック水産業関係研究開発推進会議報告書(印刷中)